



鍛えること、育てること

かめくら けんすけ とうろ
金子 健太郎
金子ボクシングジム 会長

9:25-27 1 Corinthians 「競技をする人は皆、すべてに節制します。彼らは朽ちるコリントの信徒への手紙 - 第9章25～27節 冠を得るためにそうするのですが、わたしたちは、朽ちない冠を得るために節制するのです。だから、わたしとしては、やみくもに走ったりしないし、空を打つような拳闘もしません。むしろ、自分の体を打ちたいて服従させます。」

戦後日本人として初のプロボクシング東洋フェザー級チャンピオンになったのが父「金子繁治」でした。

父は世界フライ級チャンピオン白井義男氏とともに人気がありました(60歳以上の方なら記憶されていると思います)。リングの中では猛牛のようなファイトで果敢にインファイトを仕掛けKOの山を築いたのですが、いったんリングを降りたら真面目で敬虔なクリスチャンというギャップが、カリスマ性を呼んで人気があったようです。そんな父は引退後、自分が成せなかった夢を指導者としてかなえるべく世界チャンピオンを育成するためジムを開設しました。私は、そんな父親の背中を見て育ったのです。

中学でボクシングを始めましたが、本格的に始めたのは高校2年生のときでした。東海大学に進学し、ボクシング部に所属しました。目を悪くし、センスもなくアマチュアで引退し、指導者への道に進んだのです(育成に携わったチャンピオンは、全日本新人王3人、日本チャンピオン7人、東洋太平洋チャンピオン3人、世界チャンピオン1人)。

5年前スーパーフライ級清水智信が念願の世界チャンピオンとなりました。ボクシングは攻防の技術を競う競技であり、決して野蛮な喧嘩ではありません。自分は欲張りです。金銭とかではなく、知識とか、



清水智信選手、念願のタイトルを獲得(前列が金子繁治氏)

経験、人との出会いなど、好奇心が旺盛です。33歳で東京青年会議所に入会、39歳で北沢法人会の青年部会長、40歳で青年会議所を卒業し同時に保護司、42歳で金子ボクシングジム会長および東日本ボクシング協会事務局長、48歳で金子プロモーション代表取締役社長を父から引き継ぎました。



現在世界タイトルを目前にしている大竹秀典選手が日本タイトルを防衛した時(右側が筆者)

ジム会長として、強い選手を「鍛えて育てる」。保護司として、対象者を「鍛えて育てる」。教会学校校長として子どもたちの信仰心を「育てる」。父親として子どもたちを「育てる」。宿題はたくさんあります。私も15歳で洗礼を受けて、18歳から40歳まで教会学校の教師をしました。この経験も「人を育てる」ということにおいてはすごく勉強になりましたし、37歳からは校長も経験しました。

さて、先ほどの清水も簡単に世界チャンピオンになったわけではありません。1回目の世界戦はタイに遠征しました。相手は世界フライ級チャンピオンのボンサックレックという17回も世界王者を防衛している強いチャンピオンでした。鼻の上をザックリと切ってしまう、7RTKO負けでした。2回目の世界戦はボンサックレックから王座を獲得した内藤大助選手でした。代々木第一体育館にて多くのお客様が見守る中、10Rまで2ポイントリードしていながら10回にワンパンチで大逆転KO負けを喫します。この時は悔しかったです。

「チャンピオンは奪い取るものでなく、与えられるものだ」という父の恩師である大石牧師の言葉が心に残りました。私が世界チャンピオンを育成できる会長

であれば、そして清水が世界チャンピオンとしてふさわしい選手であれば与えられる。まだまだなのかと思いました。そして更なる努力をし、3度目に階級上のスーパーフライ級チャンピオン・メキシコのカサレス選手に挑みました。見事に判定勝ちを取りチャンピオンが与えられました。

さて、私は「鍛えて育てる」上で以下の5点を実行しています。

1 怒ると叱るとの違い
怒るとは、一時の感情であり、教諭論事ではない。叱るとは相手の立場になり己を省みる事なり。

2 謙虚さが大事
「誰でも始めは子どもだった。しかし、その事を大人になっても忘れない大人はいくらもない」(米国学者サンデーページ)
「実るほど頭を下げる稲穂かな」謙虚さを忘れない。「学ぶ事をしなくなった指導者は、もはや指導者ではない」

3 よく聞くこと
社員や選手、生徒、対象者の話をよく聞く。(目標や希望、将来の夢などを共有)

4 よく褒めること
「して見せて褒めてやらねば人は育たず」(山本五十六元帥の言葉)

5 妥協をしない
まあこの辺でいいか、とか、この子はこんなもんだらうなどと自分で限界を決めない。

子どもたちは、無限の可能性を秘めています。そして、これらをコツコツと行うことが「鍛えること、育てること」だと思っています。

「コツコツは勝つコツ」私の好きな言葉です。コツコツがんばる人にはかないません。

皆さんも後輩や子ども、従業員や部下を育てる時は是非実践してみてください。目的を持ってゴールに向かうのです。やみくもに走ったりせず、空を打つ拳闘はしないのです。

The Salt of the Earth, The Light of the World

WESLEY HALL NEWS

122ND EDITION NOVEMBER 14, 2016

ウェスレーホールニュース 第122号 2016年11月14日発行

羊飼いたちは、見開きしたことがすべて天使の話したとおりだったので、神をあがめ賛美しながら帰って行った。

秀二 20



日本イエス・キリスト教団東京若枝教会

井川 比奈子

高等部教諭

1968年、練馬区関町の借家の8畳の板の間で「関町福音教会」が産声を上げました。その後、現在の西東京市中町に場所を移し「保谷中町教会」と名前を変えます。その後も教会に集う人々が多く与えられ、小さな教会の玄関口にまで人々があふれるようになります。もともと多くの人が礼拝できる新会堂を建てるかどうか、教会のメンバーそれぞれが熱心に折り、何度も話し合いが行われ、主の祝福を信じて新会堂の建築を決めました。そして再び場所を移し、大勢の人々に礼拝を守れる教会として西東京市泉町で再スタートしたのが「東京若枝教会」です。8畳の板の間から始まった当教会は、毎週100人以上が集う教会へと成長しました。その後も道路整備のために余剰地を命じられ、再び移転を余儀なくされましたが、主の不思議な導きによって土地と費用が与えられ、2008年に現在の西東京市住吉町に移転し、教会員の建築士が設計した会堂で礼拝を守っています。さらに2011年にはパイオルガンが奉獻されました。

毎週日曜日、10時25分になると会堂にオルガンの音が響き渡り、心を静めて30分が始まる礼拝の時を待ちます。讃美歌・聖歌を用いた賛美、交読文、主の祈りや使徒信条、特別賛美、メッセージ、献金といったスタンダードな礼拝です。主に特別賛美をしてくださるのは、テノール歌手として活躍する教会員です。実は高等部



の聖歌隊出身で、礼拝後には当教会の聖歌隊に優しく指導してくださっています。

聖歌隊の他にもさまざまな活動が盛んです。同年代で構成された各部会では、毎月第2日曜日にお昼を一緒に食べながら楽しい一時を過ごします。教会学校(CS)では毎週の礼拝以外にも、夏のキャンプ、バーベキューや川遊び、焼肉パーティーやちつき大会、クリスマス会など、さまざまなイベントを企画しています。それを支えるのはCSで育った昔の生徒たちです。また年齢を問わない教会全体の活動として、サッカー部やトーン・チャイムクラブもあります。

教会に集う人たちは皆、真面目で明るく、ユニークな人たちです。礼拝は落ち着いていて、どちらかといえば厳かな雰囲気ですが、礼拝後に会堂の外に出ると、そこは和やかに談笑する人たちであふれかえり、笑い声が絶えません。教会に集まる人々を通して神さまの愛を感じる事が

できる、温かい教会です。機会がありましたら是非いらしてみてください。

聖日礼拝(第二礼拝)
…日曜日 10:30～11:45

主な活動
教会学校
■ママとキッズのホットタイム(未就学児対象)
…第二・第四木曜日 10:30～12:00
■わかえだジョイタイム(幼小科)
…日曜日 14:00～15:00
■中学校(中高科) …日曜日 9:00～10:00
■高校科例会
…第一日曜日 礼拝後(昼食を食べながら)
■WakaedaFC(サッカー部) …不定期
■オリーブの会(トーンチャイム)
…第一・第三金曜日 13:45～15:45

活動の詳細その他の活動はホームページをご覧ください http://tokyo-wakaeda.com/



〒202-0005 東京都西東京市住吉町6-14-5
TEL 042-421-1192



小倉昌男の折り

郵便以外の物流インフラ「クロネコヤマトの宅急便」を日本で初めて作り、宅急便の規制緩和のために霞が関の公官庁と戦った小倉昌男(1924～2005)。名経営者と称えられた彼であったが、その一方で家族問題に苦しみ、最愛の妻の自死という試練を経て晩年は障害者福祉に私財をなげうつ。その彼を支えた一つが若いころに与えられたキリスト教信仰であった。救世軍からカトリックに移った彼は、毎朝この一言を神に祈って仕事に出かけたという。弱い人々の側に立つために、様々な誘惑をふりはらい、傷つきながらも日々決断する小倉の信仰が垣間見える。

塩谷 直也 大宗教部主任

『ナルニア国物語』の新たな楽しみ方

(Audio Theater) THE CHRONICLES OF NARNIA
(All Seven Audio Dramas on Nineteen CDs)
Focus on the Family社 原作C.S.Lewis

王 佳子
大学 法学部助教



ナルニア国物語と言えば、数年前に映画化された「ライオンと魔女」が思い出されるでしょう。しかし、この作品に親しむ者であれば、ナルニア国物語が全7巻から成るシリーズものであることをご存じのはずです。「ライオンと魔女」が第2巻に、「ライオンと魔女」の次に映像化された「カスピアン王子」と「アスラン王と魔法の鳥」がそれぞれ第4巻と第5巻にあたります。この三作品のほかに、第3巻の「銀の椅子」、第6巻の「馬と少年」、第1巻の「魔術師の甥」と、第7巻の「最後の戦い」があります。

7巻の中で、私が一番好きなのは「馬と少年」です。この物語の主要登場人物は、プリー、シャスタ、ウィンと、アラビスです。プリーは、ナルニア国の生まれですが、親の言いつけを守らずに遊んでいる間に誘拐されてしまった馬です。ウィンも同じ馬です。シャスタは、孤児で、カラマン国の漁師に育てられましたが、肌色の違いから自分の出生についてずっと疑問を感じていた少年です。アラビスは、カラマン国の貴族の娘で、望まな

い結婚から逃げ出した者です。その使命ゆえに、シャスタが生まれてまもなくカラマン国のスパイに盗み出されましたが、カラマン国がアーケナランド国に攻め入ろうとしていることを国王に通告できるように、アスランが脱走のタイミングを計りました。それだけでなく、シャスタが感じた数々の試練は、すべて、その使命をよりよく果たすために備えられたものでした。

私は、この物語に触れる度に、C.S.Lewisが描こうとしている神様の御心の深さに思いを巡らします。そして、その思いは、いつも私を謙虚にしてくれます。

今回おすすしたいのは、ナルニア国物語シリーズのCDドラマです。俳優たちのすばらしい演技と美しいBGMがナルニア国物語の世界を一層豊かにします。ぜひ体験してみてください。

「希望の光」「恵み」「神様の愛」「明るく輝く」「見つめ直す」「振り返る」……執筆者の心の中にある「アドヴェント」そして「クリスマス」が豊かに表された今号となりました。間もなくアドヴェントを迎えます。皆様はどのような思いを持ってお過ごしになるでしょうか。お一人おひとりが神様の愛を受けて、温かく満たされた気持ちで過ごしていきたいと思います。

(幼稚園教諭 迫田 敏幸)

12/17 土 14:00～15:30
青山学院講堂

生徒による聖劇(ページェント)形式で行われます。聖歌隊、聖書朗読など様々な役割を生徒が担います。中等部のが長く継承してきた伝統の一つです。

特別賛美老人ホーム
救世軍恵泉ホーム訪問

2017年1/14 土 14:30～15:30
西大教室

一般参加の生徒たちも、入居者の方々と賛美や語らいの時をもちます。

保護者聖書の会

1/25 水 10:50～12:00
西大教室

テーマ「聖書の中のダメ人間? ペトロ」。礼拝の前には賛美歌の楽しい練習もあります。

(聖書科主任 松本 利勝)

11/25 金 9:40～

12/ 2 金 9:40～

12/ 9 金 9:40～

保護者会クリスマス礼拝

12/ 5 月 10:00～

クリスマス礼拝

12/16 金 9:40～

3学期始業礼拝

2017年1/10 火 9:40～

聖書を学ぶ会

2/ 6 月 9:30～

卒園礼拝(年長児)

3/ 6 月

終業礼拝

3/13 月

卒園式

3/14 火

(教諭 迫田 敏幸)

11/22 火 初等部米山記念礼拝堂

アドヴェントコンサート

11/25 金 18:30開演
初等部米山記念礼拝堂
入場無料

保護者のためのクリスマス礼拝

12/ 2 金 初等部米山記念礼拝堂

クリスマス讃美礼拝

12/20 火 15:00～17:30
青山学院講堂

初等部チャペルコンサート

2017年2/23 木 15:40～16:30
初等部米山記念礼拝堂

ハンドベルクワイア、聖歌隊、トランペット部隊

(宗教主任 小澤 淳一)

11/22 火 初等部米山記念礼拝堂

アドヴェントコンサート

11/25 金 18:30開演
初等部米山記念礼拝堂
入場無料

保護者のためのクリスマス礼拝

12/ 2 金 初等部米山記念礼拝堂

クリスマス讃美礼拝

12/20 火 15:00～17:30
青山学院講堂

初等部チャペルコンサート

2017年2/23 木 15:40～16:30
初等部米山記念礼拝堂

ハンドベルクワイア、聖歌隊、トランペット部隊

(宗教主任 小澤 淳一)

11/22 火 初等部米山記念礼拝堂

アドヴェントコンサート

11/25 金 18:30開演
初等部米山記念礼拝堂
入場無料

保護者のためのクリスマス礼拝

12/ 2 金 初等部米山記念礼拝堂

クリスマス讃美礼拝

12/20 火 15:00～17:30
青山学院講堂

初等部チャペルコンサート

2017年2/23 木 15:40～16:30
初等部米山記念礼拝堂

ハンドベルクワイア、聖歌隊、トランペット部隊

(宗教主任 小澤 淳一)

11/22 火 初等部米山記念礼拝堂

アドヴェントコンサート

11/25 金 18:30開演
初等部米山記念礼拝堂
入場無料

保護者のためのクリスマス礼拝

12/ 2 金 初等部米山記念礼拝堂

クリスマス讃美礼拝

12/20 火 15:00～17:30
青山学院講堂

初等部チャペルコンサート

2017年2/23 木 15:40～16:30
初等部米山記念礼拝堂

ハンドベルクワイア、聖歌隊、トランペット部隊

(宗教主任 小澤 淳一)

11/22 火 初等部米山記念礼拝堂

アドヴェントコンサート

11/25 金 18:30開演
初等部米山記念礼拝堂
入場無料

保護者のためのクリスマス礼拝

12/ 2 金 初等部米山記念礼拝堂

クリスマス讃美礼拝

12/20 火 15:00～17:30
青山学院講堂

初等部チャペルコンサート

2017年2/23 木 15:40～16:30
初等部米山記念礼拝堂

ハンドベルクワイア、聖歌隊、トランペット部隊

(宗教主任 小澤 淳一)

11/22 火 初等部米山記念礼拝堂

アドヴェントコンサート

11/25 金 18:30開演
初等部米山記念礼拝堂
入場無料

保護者のためのクリスマス礼拝

12/ 2 金 初等部米山記念礼拝堂

クリスマス讃美礼拝

12/20 火 15:00～17:30
青山学院講堂

初等部チャペルコンサート

2017年2/23 木 15:40～16:30
初等部米山記念礼拝堂

ハンドベルクワイア、聖歌隊、トランペット部隊

(宗教主任 小澤 淳一)

11/22 火 初等部米山記念礼拝堂

アドヴェントコンサート

11/25 金 18:30開演
初等部米山記念礼拝堂
入場無料

保護者のためのクリスマス礼拝

12/ 2 金 初等部米山記念礼拝堂

クリスマス讃美礼拝

12/20 火 15:00～17:30
青山学院講堂

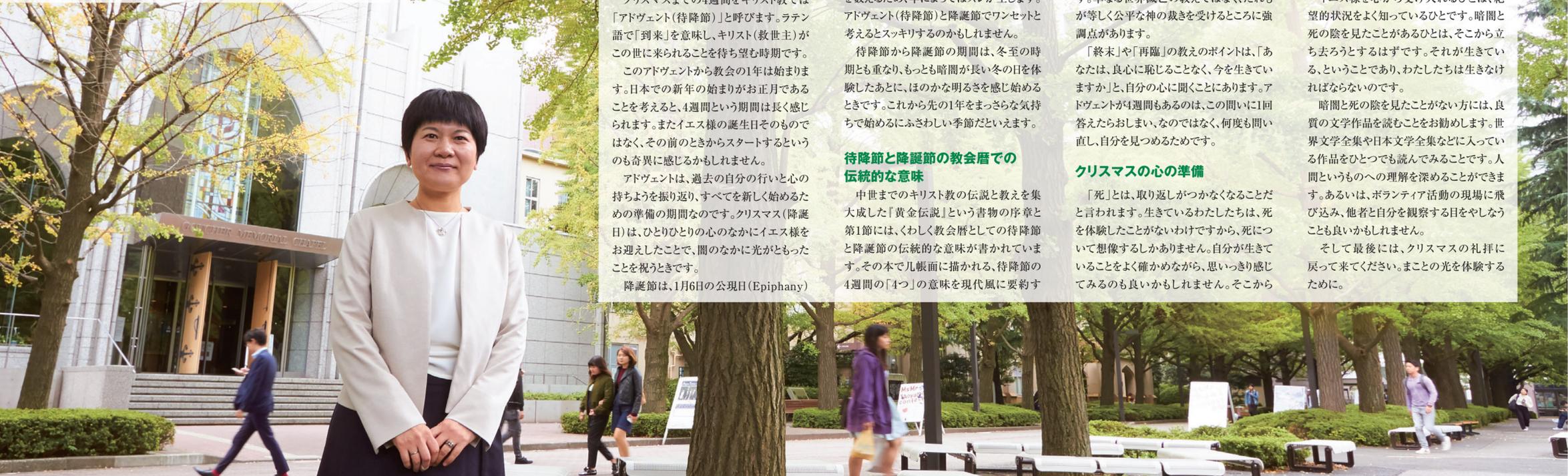
初等部チャペルコンサート

表紙写真 2015年度クリスマスツリー
点火祭(青山キャンパス)

暗闇と死の陰に座る者

ルカによる福音書 第1章 79節

福嶋 裕子 大学宗教主任



アドヴェント(待降節)と降誕節

アドヴェント・カレンダーをご存知でしょうか。クリスマスまでの4週間の日めくりの曆です。可愛いらしい絵が施されたカレンダーで、クリスマス前の時期を毎日ワクワクしながら過ごせる、そんな素敵な気分してくれます。

クリスマスまでの4週間はキリスト教では「アドヴェント(待降節)」と呼びます。ラテン語で「到来」を意味し、キリスト(救世主)がこの世に來られることを待ち望む時期です。

このアドヴェントから教会の1年は始まります。日本での新年の始まりがお正月であることを考えると、4週間という期間は長く感じられます。またイエス様の誕生日そのものではなく、その前のときからスタートするというのも奇異に感じるかもしれません。

アドヴェントは、過去の自分の行いと心の持ちようを振り返り、すべてを新しく始めるための準備の期間なのです。クリスマス(降誕日)は、ひとりひとりの心のなかにイエス様をお迎えしたことで、闇のなかに光がともったことを祝うときです。

降誕節は、1月6日の公現日(Epiphany)

の前日まで続きます。ちなみに、公現日とは、「上から(星が)出現」したという意味で、3人の東方の賢者が星に導かれてイエス様を礼拝した日です。つまり、「上に出現した」星によってキリストの神性が明らかになったことを記念する日です。

実際のアドヴェントの期間は、教会の伝統では11月30日からもっとも近い日曜日から4週を数えるため、年によってはズレが生じます。アドヴェント(待降節)と降誕節でワンセットと考えるとスッキリするのかもしれませんが。

待降節から降誕節の期間は、冬至の時期とも重なり、もっとも暗闇が長い冬の日を体験したあとに、ほのかな明るさを感じ始めるときです。これから先の1年をまっさらな気持ちで始めるにふさわしい季節だといえます。

待降節と降誕節の教会暦での伝統的な意味

中世までのキリスト教の伝説と教えを集大成した「黄金伝説」という書物の序章と第1節には、くわしく教会暦としての待降節と降誕節の伝統的な意味が書かれています。その本で几帳面に描かれる、待降節の4週間の「4つ」の意味を現代風に要約す

れば、「終わりのときを覚える」ことが基本になります。

始まりのときに、まず考えなければならぬのは、終わりのときです。それは、自分の死のときであり、世界の終わりのときです。「終末」や「再臨」は、誤解されやすい概念ですが、キリスト教では、世の終わりのときにすべてのひとが神の審判を受けると教えます。単なる世界滅亡の教えではなく、だれもが等しく公平な神の裁きを受けるところに強調点があります。

「終末」や「再臨」の教えのポイントは、「あなたは、良心に恥じることなく、今を生きていますか」と、自分の心に聞くことにあります。アドヴェントが4週間もあるのは、この間に1回答えたらおしまい、なのではなく、何度も問い直し、自分を見つめるためです。

クリスマスの心の準備

「死」とは、取り返しがつかなくなることと言われます。生きているわたしたちは、死を体験したことがないわけですから、死について想像するしかありません。自分が生きていることをよく確かめながら、思いっきり感じてみるのも良いかもしれません。そこから

先、やり直しができなくなる状態。たぶん、絶対に嫌なはず。生きている今、やり直しはできるのです。

クリスマスは、イエス様を心のなかにお迎えする日です。これは、暗闇と死の陰に光がさすことを意味します。どのような絶望と恐怖のなかにあっても、希望の光がさしこむのです。

イエス様を心から受け入れるひとは、絶望的状况をよく知っているひとは、暗闇と死の陰を見たことがあるひとは、そこから立ち去ろうとするはず。それが生きている、ということであり、わたしたちは生きなければならないのです。

暗闇と死の陰を見たことがない方には、良質の文学作品を読むことをお勧めします。世界文学全集や日本文学全集などに入っている作品をひとつでも読んでみることで、人間というものへの理解を深めることができます。あるいは、ボランティア活動の現場に飛び込み、他者と自分を観察する目をやしなうことも良いかもしれません。

そして最後には、クリスマスの礼拝に戻って来て下さい。まことの光を体験するために。

高等部より

クリスマス合同コンサート 15:00~
12/17 土 高等部PS講堂

オルガン部、聖歌隊、ハンドベル部の演奏。
クリスマス礼拝 12/19 高等部PS講堂

説教 吉岡 康子(女子短期大学宗教主任)
ホワイトキャンブ(高等部伝道キャンブ) 2017年1/4 水 6全

(宗教主任 相良 昌彦)

女子短大より

グローリアス・クワイア
クリスマス・チャリティ
チャペルコンサート 18:15~19:30

12/ 2 金 短大礼拝堂
クリスマス礼拝 13:10~14:30

12/14 水 カウチャー記念礼拝堂
奨励 植野 興夫(順天堂大学医学部教授・
一般社団法人がん哲学外来理事長)

(宗教活動センター)

大学より

クリスマス礼拝 18:30~19:30
12/20 火 青山キャンパス

カウチャー記念礼拝堂
説教 友納 靖史(常盤台バプテスマ教会牧師)
12/22 木 相模原キャンパス

ウェスレー・チャペル
説教 山口 陽一(東京基督教大学教授・
同大学院神学研究所委員長)
どなたでも参加できます。

Special Issue : A Special Present for Us

特集 クリスマス、神様のおくりもの

高価で貴いあなたへ

西野 浩子 幼稚園教諭

クリスマスと聞くと、どのような気持ちになりますか？プレゼントが嬉しかった経験や、大切な家族や友人が多いのではないのでしょうか。あなたが今まで一番嬉しかったプレゼントは何ですか？

私の一番は、神様から「わたしの目にはあなたは高価で貴い。わたしはあなたを愛している。」(新改訳イザヤ書43章4節)と言っていただいたことです。その高校一年生の春以来、自分のことも、人のことも「神様の大切な人」として自然と尊重するようになりました。「もっと早く知りたかったな」と思い、この御言葉

を人生の早い時期に、すべての子どもたちに届けたくて、キリスト教保育の道を歩んでいます。いくつかの幼稚園で多くの子どもたちに出会い、どの子どもにも子どもにかない圧倒的な愛を持っていました。御り主である神様は本当に芸術家です。クリスマスを待つアドヴェントの時、神様がくださっている恵みを改めて考えます。すると、子どもたちが自分なりに葛藤したり、友だちとぶつかり合い認め合

い日々成長する場に立ち会っていることに感謝したくなります。そこで年少児には私がその子どもの良いところをカードいっぱい書き、「神様、こんなにすてきな〇〇ちゃんとお会わせてくださってありがとうございます」と渡したり、年長児とは「友だちの良いところ探し」をするなど、方法は様々ですが、すでに芽生えている

聖書や絵本、讃美歌を通して、子どもたちはクリスマスを体験していきます。歴史上の出来事にとどまらず「私の大好きなイエス様、お誕生日おめでとう」と主イエスと共に歩む人生となりますように。

佐藤 滉記 初等部3年

クリスマスのお話が好きです。小さな赤ちゃんのイエス様を、みんなでそろっておいわしている様子はうれしい気持ちになります。ほくの教会では、小さな赤ちゃんから中学生のお兄さんお姉さんまで一緒にベレージェントをやります。もちろん一番小さい赤ちゃんは、生まれたばかりのイエス様の役です。ほくも今まで、羊、星、羊かい、はかせなど色々な役をやりました。それぞれの場面のさんびかをみんなで歌います。

しよとう部のクリスマスさんび礼はいでもページエントがあります。とてもすてきではじめて見た時にはびっくりしました。ハンドベルやがっきのえんそうから始まり、せい歌たいが本物のろうそくをもって歌います。ぶたいで出てくる色々な役の人は、いしように着ているとてもかっこいいです。ほくは、しよとう部のベレージェントには、まだ出たことがありません。

ほくは、今年のペンテコステの時に洗礼をうけました。これからはもうずっと神様とつながっていたい、神様についていこうと決めたからです。洗礼をうけた時、しよとう部の先生方や、教会の方が「おめでとう。」と、とても喜んでくださいました。ほくは、うれしい気持ちになって、これからも神様によるこぼれることをしたいと思いました。

クリスマスはイエス様が生まれました。大切な日です。イエス様がこの世にお生まれになったから、ぼくたちは神様のことをたくさん知ることができました。でも、クリスマスの本当の意味を知らない人もたくさんいます。ほくの好きなクリスマスのお話をして、神様のことイエス様のことをみんなにつたえられ人になりたいと思っています。

神のやさしさと人のやさしさ 神本 利勝 中等部特別教諭 聖書科主任

天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。」(ルカによる福音書1章30~32節)

主イエスご降誕の出来事は、2000年前のバレスチナでは、当時、どこでも目にしたであろう貧しい夫婦の物語である。ただ、他の夫婦と異なるのは妻マリアが身重であったこと。そして、何よりその子が「救い主」であったことである。この到底受け入れ難い神秘の宿命を、神の恵みとして受容した夫ヨセフとその妻マリア。しかしこの夫婦は、恐れ苦悩しつつ幾度も神に尋ねたであろう。「主よ、あなたは何故に私たちの愛する子を、救い主としてお選びになられたのですか。」天使ガブリエルによる処女マリアへの聖なる受胎告知。この時、神はマリアに、その子が、やがて、死刑囚としての汚辱にまみれ、しかし聖なる十字架と復活の道を歩むことを知らせはしなかった。神の畏怖すべきやさしさである。

それから2000年以上の年月が過ぎた。世界の難民6530万人。その半数以上はシリア、アフガニスタン、ソマリアの3か国が占める。さらに心痛むのは欧州だけでなく、少なくとも子ども移民1万人以上が行方不明という事実。ヨセフもマリアもイエス誕生後、政治的抑圧故に、故郷に帰れず難民として彷徨ったことを想起させる。

クリスマスは今、青山学院に進む全ての人々、私達ひとりひとり、この貧しくも敬虔な夫婦の苦悩とその愛する子の生涯にどのような意味を見出しているだろうか。

私は、時として、非情にも2000年前の主の御降誕の聖なる意味をゆめやましさがある。果たして、私達の祈りは如何にあるべきだろうか。

讃美歌を通じての出会い 佐藤 佑樹 高等部3年

私は高等部に入学して雰囲気明るくとても楽しそうだった聖歌隊とABF(聖書交友会)に入りました。中学生の頃から歌を歌うのが大好きだった私は、次第に聖歌隊として賛美の奉仕をするのを心地よく感じるようになりました。しかし、私はキリスト教ではなく、キリスト教に興味があったわけではあません。聖書に触れたのも高校生になって初めて経験したことなのです。そんな私の心に変化があったのは1年生で初めて点火祭の舞台上に立った時のことでした。

点火祭では、聖歌隊も含めて集まったすべての人々が、明るく輝くロウソクを手にイエス様の降誕をお祝いします。私は、歌いながらロウソクを持っているみんなの顔が明るく照らされている光景を見るのが好きで、それを見るととても幸せな気持ちになりました。そしてその光景を見た時、初めて神様のことを深く考えました。神様の姿や私たちへの愛は実際に見ることはできません。しかし、賛美を通してならば神様の愛を感じることができ、その神様の愛をみんなに届けるのが聖歌隊なのではないかとその時実感しました。

私はこの点火祭で、今まで信じられなかった神様の愛を初めて感じ、神様の存在を信じていることができました。点火祭は私にとって神様の愛を最も身近に感じることのできる時になったのです。点火されたツリーの光が学院全体を優しく照らすと、私は神様と周りのすべての人への感謝や祈りの気持ちに満ちてきます。そして、今年も私は聖歌隊としてクリスマスの様々な行事で賛美をします。賛美を通してすべての人々、そして自分自身に神様の愛が届くことを信じて。

クリスマスへの思い出 佐々木 実紀 女子短期大学 子ども学科1年

私の最も大切なクリスマスの思い出は、高1の時の洗礼式です。

私はノンクリスチャンの家庭に育ちました。母が青山学院の卒業生だったので小さい頃から教会に親しんでおり、教会付属の幼稚園に入園しました。卒園後は公立の小学校に進学しましたが、幼稚園時代の友達に会うのが楽しみで毎週日曜の子ども礼拝に出席していました。中高はミッションスクールに進学したので、参加教会との関わりを大きく変えたのは、高1の時に参としたバングラデッシュでのスタディツアーでした。スタディツアーでは朝と夜の礼拝で参加者がお話を担当する機会がありました。それぞれが話しやすいテーマを設け、ベットの話を友人の話、学校での出来事などを話す中、私は自分の教会の話をしました。この時初めて自分の中で教会という空間が当たり前のよう存在していたことに気付く衝撃を受けました。ずっと教会に通っていたのでいつかは受洗するのだろうと漠然と考えてはいましたが、その「いつか」が今なのだその時確信しました。

受洗に至るまでの動機が曖昧なため、受洗する資格が私にはあるのだろうかと不安にもなりました。でも、クリスマス礼拝で行われた洗礼式で受洗した瞬間、自分の選択は正しかったのだとホッとした気持ちになりました。

受洗して何か特別な変化があった訳ではありません。同じ信仰を持っている人も色々な考えの人がいること、そのような人々との出会いを通して改めて自分の生き方を見つめ直すことで視野が広がったように思います。

洗礼を受けることは決して特別なことではなく、自分の信仰に気付いたなら誰もが出来るものではないでしょうか。

光あるクリスマス 湊 玲奈 大学 総合文化政策学部2年

クリスマスと聞いてどのようなことをイメージするでしょうか。街にはイルミネーションが輝き、クリスマスソングが流れ、ロマンチックで華やかな、温かい喜びのイメージがあるでしょう。

私の母方の親族は皆クリスチャンであり、その影響から幼い頃から教会に通い、幼稚園は聖和学院第二幼稚園、中学高校は横浜女学院とキリスト教の教えのある学校へ進みました。そこで神様と出会い、信じ、導かれクリスチャンとなりました。信仰生活を送っていく中で「イエス様が生まれた日」であるクリスマスが、私にとってとても大切な日であるという

ことに気づかされました。それは、イエス様は私たちを救うために、何も罪がない御自分を犠牲にして十字架にかかり罪を赦してくださいました。私は毎年教会のクリスマス礼拝に出席しており、クリスマス礼拝での牧師先生のお話は、私の信仰心をさらに強めてくださっています。ヨハネによる福音書第3章16節に「神はその独り子をお与えになったほどに世を愛された。」と書いてあります。神様はその独り子イエス様をこの世に贈るほどに私たちを愛してくださいました。それは私たちがこの世界の暗闇の中でさみしく一人で苦しんでいるのではなく、神様と共に生きる永遠の命を得るためであり、神様はいつも私たちと共にいてくださると聖書は教えてくれています。誰でも落ち込んだり不安になったり、暗闇の中で苦しんでいるときもあります。しかし、神様が私たちにそれぞれ良い道へと光を照らしてくださいます。

一人でも多くの人が、心の中にいつも神様がいてくださりその光によって導かれて過ごしている、ということに気づくクリスマスになるようにお祈りしています。

本部より

クリスマス・ツリー点火祭
~降誕を待ち望む礼拝 15:00~

11/25 金 相模原キャンパス16:40~
15:00~ 青山キャンパス 17:50~
全学院の礼拝として行います。

Art クリスマス Aoyama 11/29 火 12/14 短大

11/29 水 キャンパス 他
クリスマステーマとした絵画展です。
どなたでも自由においでください。

全学院教職員新年礼拝 17:00~
2017年1/ 6 全 カウチャー記念礼拝堂

(宗教センター事務局)